

山政孝の繼室で、政孝に詩を學び、その作る所八百三十餘首に及んだといふ。文久三年十一月廿四日歿、享年五十九。續斷香集はその詩を輯めたものである。

ヨコヤマランテヨウ 横山蘭蝶 名は桂、津田政本の長女で、横山政孝の室となつたもの。寛政七年七月十四日生まれ、文化五年十一月十六日歿した。人と爲り真正淑美、詩を賦し書及び琴を嗜んだ。十二年八月廿五日死産して歿。心證院と號し野田山に葬つた。その詩は政孝の作と共に海棠園合刊に收められ、又別に斷香集がある。

ヨコキイヘ 横井伊兵衛 初めて前田利長に仕へて百三十石を領した。子孫藩に世襲する。

ヨコキゲンシ 横井玄志 寶永六年外科醫を以て召出され、三百石を領し、正徳四年百石を加へ、享保八年十月二十日歿。子孫致齋、元泰義信・元亮惟恭相繼いだ。

ヨコキゲンシユウ 横井元秀 致齋の養子で、本道の醫であつた。初名元常・元泰、諱は義信。安永四年六月十五人扶持を受け、同年父の遺知三百石を襲ぎ、天明五年百石を加へ、文化五年更に五十石を増し、六年四月十六日六十二歳を以て歿した。

ヨコキゴロエモン 横井五郎右衛門 又喜太郎に作る。前田利常の時に來仕し、祿二百石を受け、大坂再役に従軍して片桐市正第で敵首一つを得た。元和二年歿。子孫世々藩に仕へる。

ヨコキチサイ 横井致齋 立志の養子。元文二年召出され、俸二十人扶持を受け、本道の醫を業とし、延享四年二百石を食み、寶曆

十三年百石を加へ、安永四年十月七十一歳を以て歿した。

ヨサノフユ 與謝の冬 一冊。俳人蒼虬が丹後の天、橋立に遊んだ時、宮津の魏道等が之を迎へて興行した歌仙を主とし、他の句をも集めたものである。文化九年刻。

ヨシイヘ 吉家 加賀の刀工。古刀期では加州住吉家と切り、天文頃。新刀期では初代吉兵衛家忠の門人、通稱洲崎吉右衛門、初諱吉重。前田利常の越中瑞龍寺寄進刀中には加州住藤原吉重造承應三年八月吉日と切る。その後吉家と改銘し、賀州金澤藤原吉家陀羅尼吉右衛門作之寛文四年二月日、又は加州金澤住藤原吉家造延寶六年など、切つた。

ヨシイヘ 吉宿 加賀の刀工。賀州住吉宿と切る。元祿頃。吉家と同人かといふ。

ヨシウラ 吉浦 鳳至郡七浦庄に屬する部落。

ヨシガイケ 吉ヶ池 珠洲郡若山庄に屬する部落。村名由來書に、『此村昔年四郎兵衛と申百姓の家名吉ヶ池と申に付、則村名に唱申由中傳候。』とある。

ヨシガイケヤマ 吉ヶ池山 鳳至郡古君の部落から西北に當る山。高さ一二三米。地質第三紀層。

ヨシガウラバナ 吉ヶ浦鼻 鹿島郡能登島なる久木部落の東北に在る岬。

ヨシカハ 良川 鹿島郡良川院に屬する部落。邑名は、白山社の側を流れる宮川の水質良好なるを以て、一に良川とも稱するに因る。

ヨシカハイン 良河院 鹿島郡に在つた。承久三年注進の能登國田數目録に、『良河院、五町三段』とある。後世亦良川院の名を存する。

ヨシカハイン 良川院 鹿島郡に屬し、藩政時代では、良川・上・徳丸の三ヶ村を含んで居た。

ヨシカハシラヤマシヤ 良川白山社 鹿島郡良川の産土神である。嘗て式内白比古神社であると主張したことがある。今は白比古神社と稱する。

ヨシカハヘイダ 吉川平太 村井長頼の興力で、天正中諸所に戦功があつた。後去つて福島正則に仕へ、武勳を以て家老に列し、名を福島丹波と改めた。慶長五年正則の安藝・備後に封ぜられた後、丹波は常に備後寒鍋城に居たが、元和五年主家歿落し、丹波の子福島半右衛門は來つて前田利常に仕へて四百石を受けた。(越登賀三州志頭註に丹波の子彌右衛門來仕して三千石を受けたとあるが、今諸士系譜に従ふ。)後半右衛門の嫡子藤左衛門の統は孫權入の時元祿中絶炊し、次子淺右衛門の系は永く加賀藩に仕へた。

ヨシカハホ 良川保 鹿島郡に在つた。承久三年注進の能登國田數目録に、『三番良川保、拾八町二段八、元久元年檢注田定。』とある。後世亦三階良川保が存する。

ヨシガマチ 吉ヶ町 鳳至郡寺山の内の小字。

ヨシガヤチ 吉ヶ谷内 鳳至郡浦上の内の小字。

ヨシクラ 吉倉 河北郡笠野郷に屬する部落。寛文四年中條村半右衛門筆記に、末森合戦の後佐々成政が、金澤城を乗取る爲吉倉野まで人數を寄せたとあるも是である。

ヨシサカ 吉坂 鳳至郡市瀬の内の小字。

ヨシサキ 吉崎 江沼郡西庄に屬する部落。

ヨシサキ 吉崎 羽咋郡邑知院に屬する部落。

ヨシサキウラ 吉崎浦 童兒手習の手に用ふる名物往來とて、加賀・能登・越中三國の名産を集めたものに大場海老・吉崎浦の牡蠣とあり、微妙公御夜話中にも、將軍徳川家綱の時代に、小松在城の前田利常に命じて吉崎浦の牡蠣を送らしめた譚が記されて居る。江沼郡吉崎は海濱でないが、その名が聞えて居るから、附近の鹽屋あたりの産をしか言うたのであらう。

ヨシサキガタ 吉崎潟 越前・加賀の界に在る北潟を吉崎潟といふこともある。二國に跨る吉崎の部落がその沿岸にあるからである。

ヨシサキシン 吉崎新 羽咋郡邑知院に屬する部落。天保十二年吉崎より分かれて一村建となつたが、元來無家の地であるから、明治八年十月再び之を併合した。

ヨシサキヤキエモン 吉崎屋臺右衛門 鹿野氏。諱は榮元。大聖寺の人。關流の算學を伊藤克孝に學び、その奉額を寛政九年には那谷觀音堂に、十年には西尾次郎右衛門一起と共に山代藥王寺に掲げた。

ヨシシゲ 吉重 ↓ヨシイヘ 吉家。

ヨシシゲヨシノリ 吉重吉則 通稱庄九郎。國永吉重の門下から出で、鏡象眼の技を能くし、遂に師の名を氏とした。その後系に、孫右衛門吉國・源四郎森方・長右衛門吉國・八太夫吉次・善右衛門吉平がある。

ヨシジマ 葭島 能美郡新保の内の小字。地圖には吉島とする。